

操業コストは固定費が支配的

■ 売上高の9割が再処理事業の料金収入

- ◇ 再処理事業に要する費用を顧客電力に料金請求し、収入を売上額に計上
- ◇ 再処理費用の太宗は、再処理量(使用済燃料の剪断トン数)の多寡に依存しない固定的費用(基本料金)
 - 費用の半分は、大規模プラントの減価償却費
 - 常に安全を確保; 放射性物質の閉込め、崩壊熱の冷却、水素の掃気等プラント状態の監視、非常用DG・安全蒸気ボイラー等の保守、施設内外の放射線モニタリング、等々
 - 搬出までの製品の保管・管理(MOX、ウラン酸化物、ガラス固化体)
 - 発生する放射性廃棄物の処理・貯蔵管理
 - 無通告査察を行うIAEAの保障措置への対応、恒常的な核物質防護(警備)
 - 特に現在は、竣工(使用前検査合格)に向け、ガラス固化試験に全力投球
- ◇ 変動費は、化学処理に伴う電気代、燃料代、薬品代、サイクル税などで、輸送容器からの燃料取出時、再処理完了時、ガラス固化完了時などに支払われる従量料金

■ 2010年度の日本原燃の費用の内訳;

- ◇ 売上原価の主な内訳は、減価償却費1,512億円、委託費204億円、修繕費252億円、人件費119億円、消耗品費61億円、賃借料33億円、諸税251億円、等
- ◇ 販売費及び一般管理費251億円、支払利息185億円、等